

社会資本総合整備計画

生涯学習推進ゾーンを中心とした市街地の活性化

平成26年12月8日

福岡県 古賀市

(様式2) 社会資本総合整備計画

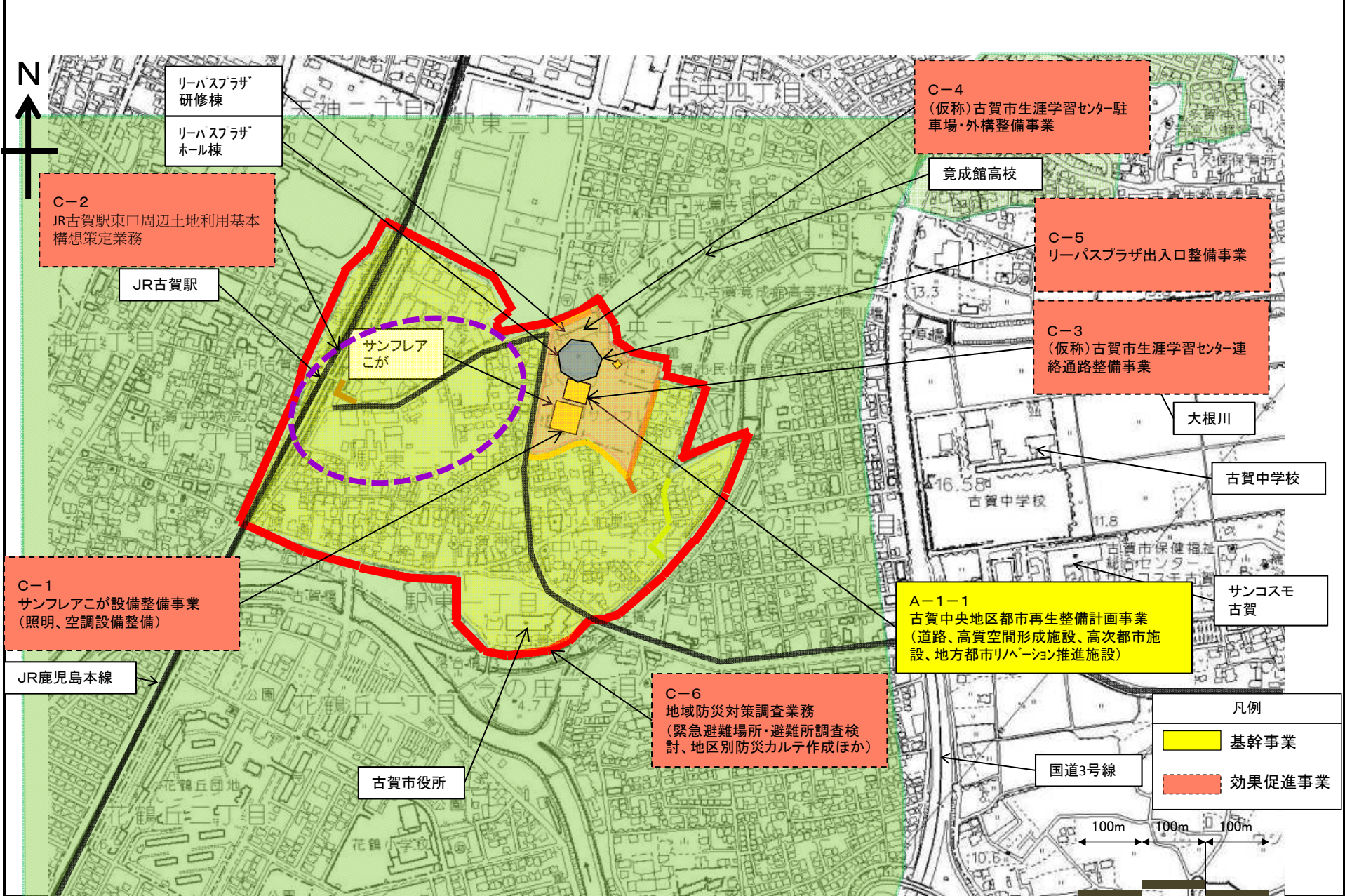
平成26年 月 日

計画の名称	生涯学習推進ゾーンを中心とした市街地の活性化															
計画の期間	平成24年度～平成28年度(5年間)		交付対象	福岡県古賀市												
計画の目標	古賀市は、様々な公共施設や病院、商業施設等の都市機能が拡散して配置され、「施設間の移動手段がない、少ない。」「移動に時間がかかる。」等の市民の声が多数寄せられている。それらの課題や、これからさらに進行が予測される高齢化に対応するため、古賀市では平成24年度からスタートした第4次古賀市総合振興計画に、「JR駅周辺の整備や利便性の向上などにより駅前の活性化を図りながら、JR駅を拠点とした“歩いて暮らせるまちづくり”を進めます。」と土地利用の方針を示し、都市機能を分散させず、JR駅周辺に集約したJR駅を拠点としたコンパクトシティづくりを推進している。その方針に基づき、市内JR3駅(ししが駅、古賀駅、千鳥駅)へとつながる東西幹線道路の整備を推進するとともに、市内を走る西鉄バスは、市内のどの場所からもJR駅へと向かうようルートを設定する等市内交通網の整備に取り組んでいる。その中でも、JR3駅の中間に位置するJR古賀駅周辺は最重要拠点として整備を行うこととしているため、JR古賀駅東側の中心市街地を生涯学習推進ゾーンと位置づけ、サンフレアこが(図書館、歴史資料館)、リーパズプラザ(中央公民館)、生涯学習センター(地域交流センター)等施設や周辺道路を集中して整備し、都市機能の拡散の防止と公共用地・施設の有効活用に取り組むことで、市民の生涯学習活動の活性化を図るとともにコンパクトシティづくりを推進する。また、風水害や地震等の災害危険性と防災にかかる課題等を把握し、安全で安心な地区の構築を進める。															
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)古賀市生涯学習センター(地域交流センター)の利用者数〔生涯学習やまちづくり等の活動を行う者の数〕・・・145,000人(H24当初)を、160,000人(H28末)に15,000人増加させる ・(仮称)古賀市生涯学習センター(地域交流センター)に対する満足度〔施設とその機能に対する満足度〕・・・・・・13%(H19当初)を、30%(H28末)に17%増加させる ・生涯学習機会の提供に対する満足度・・・・・・8.4%(H19当初)を、17%(H28末)に8.6%増加させる ・図書館利用者の増加 / 郷土・行政資料・レファレンスコーナーの充実、利用しやすい施設づくり＝利用者数の増加推移・・・年間利用者数125,000人(H23年現況値)を135,000人(H28末)に10,000人増加させる。 															
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値												
				当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H28末)	備考									
	(仮称)古賀市生涯学習センター(地域交流センター)の利用者数を集計する。			145,000人	145,000人	160,000人										
	(仮称)古賀市生涯学習センター(地域交流センター)に対する満足度をアンケートにより調査する。			13%	—	30%										
	生涯学習機会の提供に対する満足度をアンケートにより調査する。			8.4%	—	17%										
	サンフレアこが(図書館)の利用者数を推計する。			125,000人	125,000人	135,000人										
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,497.5百万円	A	2,084.0百万円	B	0円	C	413.5百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	16.6%						
交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28			
A-1-1	都市再生	一般	古賀市	直接	古賀市	古賀中央地区都市再生整備計画事業	道路、高質空間形成施設、高次都市施設等 21ha	古賀市							2,084.0	
合計														2,084.0		
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28			
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28			
C-1	施設整備	一般	古賀市	直接	古賀市	サンフレアこが設備整備事業	LED照明、空調設備整備	古賀市							232.5	
C-2	基本構想	一般	古賀市	直接	古賀市	JR古賀駅東口周辺土地利用基本構想策定業務	基本構想検討委託	古賀市							5.9	
C-3	施設整備	一般	古賀市	直接	古賀市	(仮称)古賀市生涯学習センター連絡通路整備事業	連絡通路整備(リーパズプラザ側+サンフレアこが側)	古賀市							26.6	
C-4	施設整備	一般	古賀市	直接	古賀市	(仮称)古賀市生涯学習センター駐車場・外構整備事業	駐車場・進入路・歩道・正面広場・雨水排水路・庇・植栽等整備、既存施設撤去、用具倉庫移設	古賀市							139.2	
C-5	施設整備	一般	古賀市	直接	古賀市	リーパズプラザ出入口整備事業	(通用口)自動ドア・階段・スロープ・庇整備、擁壁撤去(正面玄関口)扉軽量化	古賀市							9.2	
C-6	事業活用調査	一般	古賀市	直接	古賀市	地域防災対策調査業務	緊急避難場所・避難所調査検討、地区別防災カルテ作成、防災マップ作成	古賀市							0.1	
合計														413.5		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	図書館、歴史資料館設備の機能を向上させ快適な利用空間を創出し、中心市街地の活性化を促進する。	
C-2	JR古賀駅東口周辺について、駅周辺にふさわしい土地利用の検討を行い、中心市街地の活性化を促進する。	
C-3	(仮称)生涯学習センターから、隣接するリーパースプラザ、パルデアこがへの連絡通路を設置することで、生涯学習ゾーン全体の利用者の行き来(交流)が生まれ、中心市街地活性化につながる。	
C-4	生涯学習ゾーン内の駐車場、外構等の施設を整備することで、車両や徒歩で来場する利用者の施設環境を整え、用地、施設の有効利用を図り中心市街地の活性化を推進させる。	
C-5	リーパースプラザの出入口に自動ドア、スロープ整備等の改良を行うことで、高齢者や障がい者にも利用しやすい施設環境を整え、中心市街地の活性化に寄与する。	
C-6	古賀市中央地区全域における防災対策調査を行い、中心市街地の安心・安全を推進する。	

(様式3)

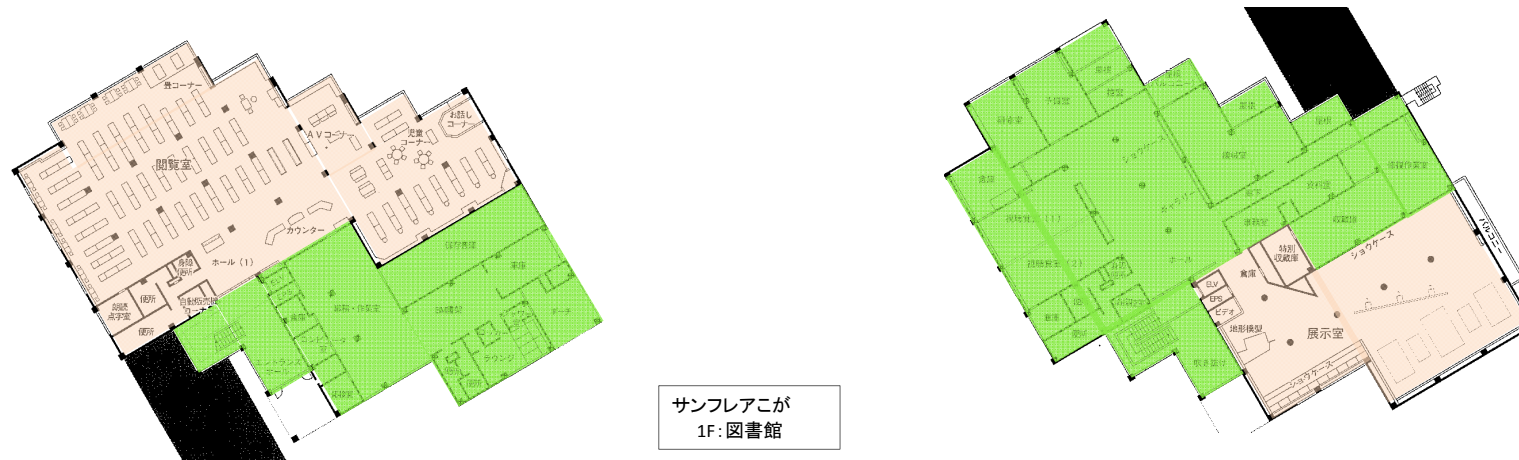
計画の名称	生涯学習推進ゾーンを中心とした市街地の活性化		
計画の時期	平成24年度～平成28年度(5年間)	交付対象	福岡県 古賀市



関連事業（効果促進事業）

種別	効果促進事業・施設整備	施設名	サンフレアこが(図書館、歴史資料館) 設備整備	位置	中央2丁目
----	-------------	-----	----------------------------	----	-------

整備・設置する施設等の配置図・平面図等



サンフレアこが
1F: 図書館

サンフレアこが
2F: 歴史資料館

サンフレアこが 照明・空調設備整備
(事業内容)

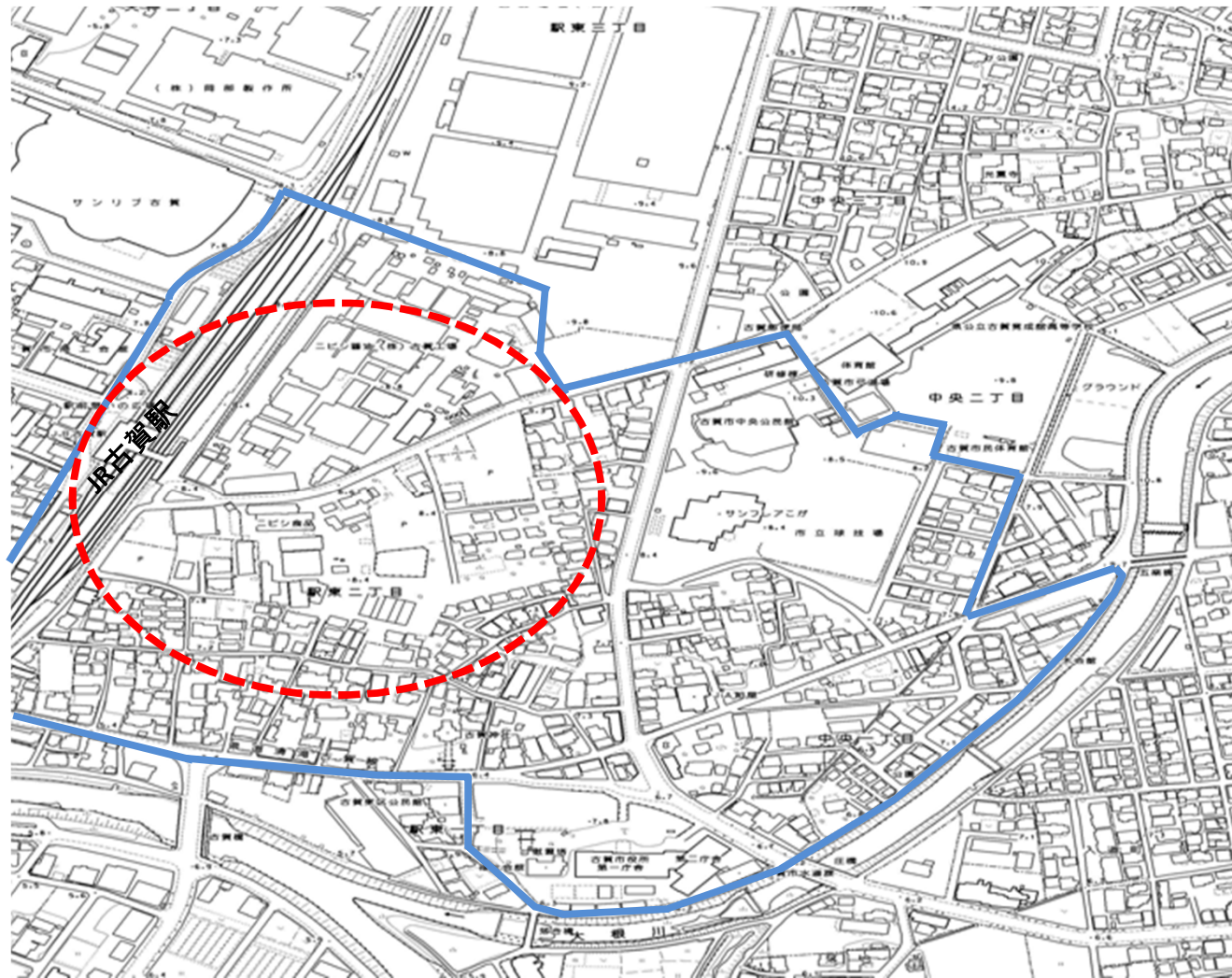
全体計画 H26～H27 C=232,500千円
 H25 設計委託 C=3,056千円
 H26 設計委託 C=3,142千円
 H27 工事、工事監理 C=226,302千円

照明設備整備・・・全館に設置している旧来の照明設備について、高効率のLED照明へ更新を行う。

空調設備・・・建物は平成6年8月に完成し17年が経過しており、設備は経年劣化が進んでいる。空調設備については図の網掛け部分が灯油燃料による機器を設置しており、その他の部分は通常電源による機器を使用している。機器が古いため両タイプとも効率が悪く、灯油使用のものは環境への影響(CO2排出)がある。今回の増床工事に併せて全館の空調設備を更新し、環境に配慮し高効率の電気機器の設置を行う。

凡例	
	: 灯油燃料による空調設備範囲
	: 他の範囲は通常電源による空調

事業活用調査（JR古賀駅東口周辺土地利用基本構想策定業務）



JR古賀駅東口周辺土地利用基本構想策定業務
（事業概要）

基本構想策定 H26 C=5,940千円

JR古賀駅を中心とした、基礎調査によりJR古賀駅東口周辺の開発における基本構想を作成し、施設整備の推進と並行してその実現方策の検討を行う。

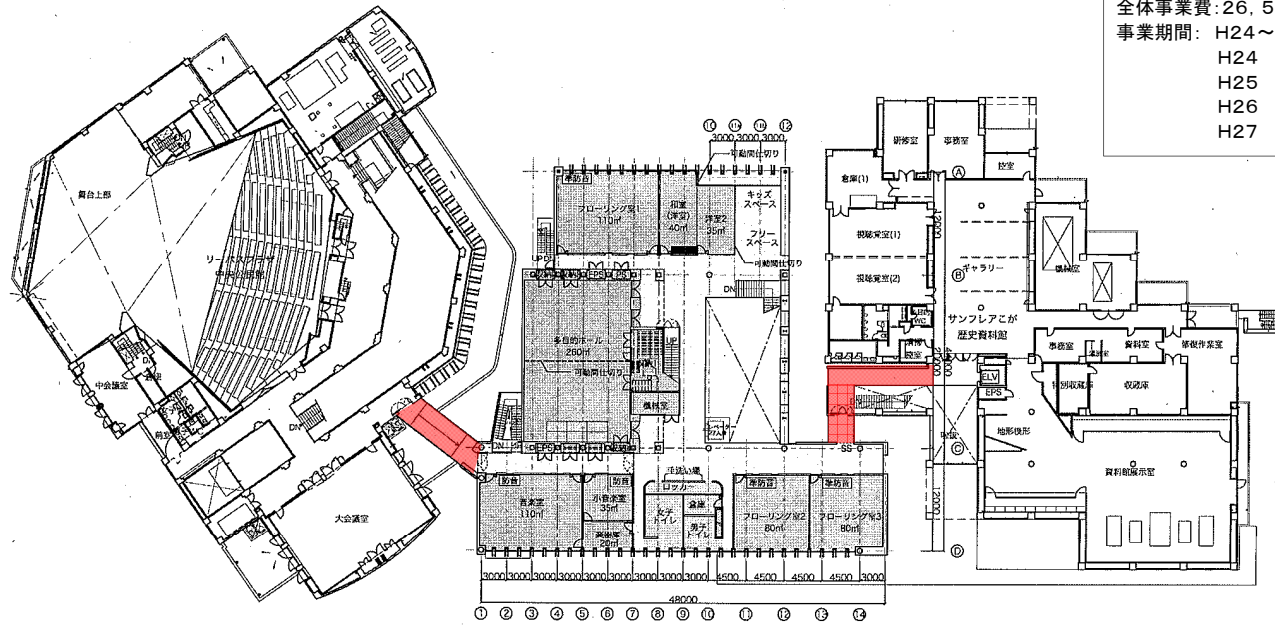
- ①調査区の設定を行う
- ②現地踏査及び実体調査を行う
- ③計画テーマの設定を行い、基本構想を作成する

関連事業（効果促進事業）

種別	効果促進事業・施設整備	施設名	(仮称)古賀市生涯学習センター連絡通路整備事業	位置	中央2丁目
----	-------------	-----	-------------------------	----	-------

整備・設置する施設等の配置図・平面図等

(仮称)古賀市生涯学習センター連絡通路整備事業
【事業概要】
 目的:生涯学習センターから、隣接するリーバスプラザ、サンフレアこがへの連絡通路を設置することで、生涯学習ゾーン全体の利用者の行き来(交流)が生まれ、中心市街地活性化につなげる。
 整備内容:連絡通路整備(リーバスプラザ側+サンフレアこが側)
 全体事業費:26,587千円
 事業期間: H24~H27
 H24 設計 C= 160千円
 H25 設計 C=1,230千円
 H26 工事、工事監理 C= 9,751千円
 H27 工事、工事監理 C=15,446千円

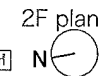


(仮称)古賀市生涯学習センター

- 凡例
- 市民レンタルルーム
 - 共用スペース
 - 事務・WC・倉庫など

リーバスプラザ: 1108.10㎡ 生涯学習センター: 1425.92㎡ サンフレアこが: 1601.81㎡
 渡り廊下: 34.34㎡ 渡り廊下: 10.04㎡

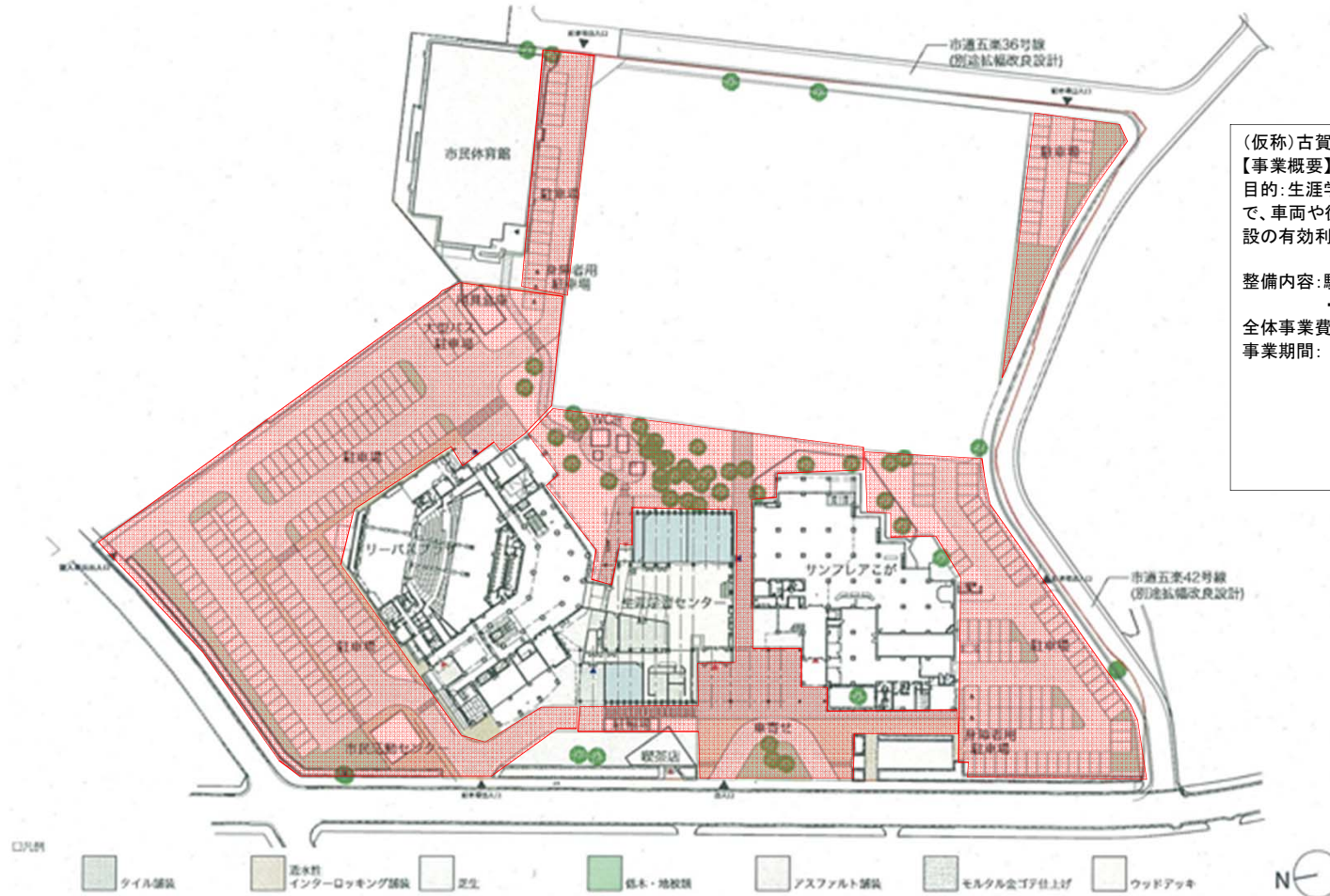
2F合計: 4180.21㎡



関連事業（効果促進事業）

種別	効果促進事業・施設整備	施設名	(仮称)古賀市生涯学習センター駐車場・外構整備事業	位置	中央2丁目
----	-------------	-----	---------------------------	----	-------

整備・設置する施設等の配置図・平面図等



(仮称)古賀市生涯学習センター駐車場・外構整備事業
【事業概要】
 目的:生涯学習ゾーン内の駐車場、外構等の施設を整備することで、車両や徒歩で来場する利用者の施設環境を整え、用地、施設の有効利用を図り中心市街地の活性化を推進させる。

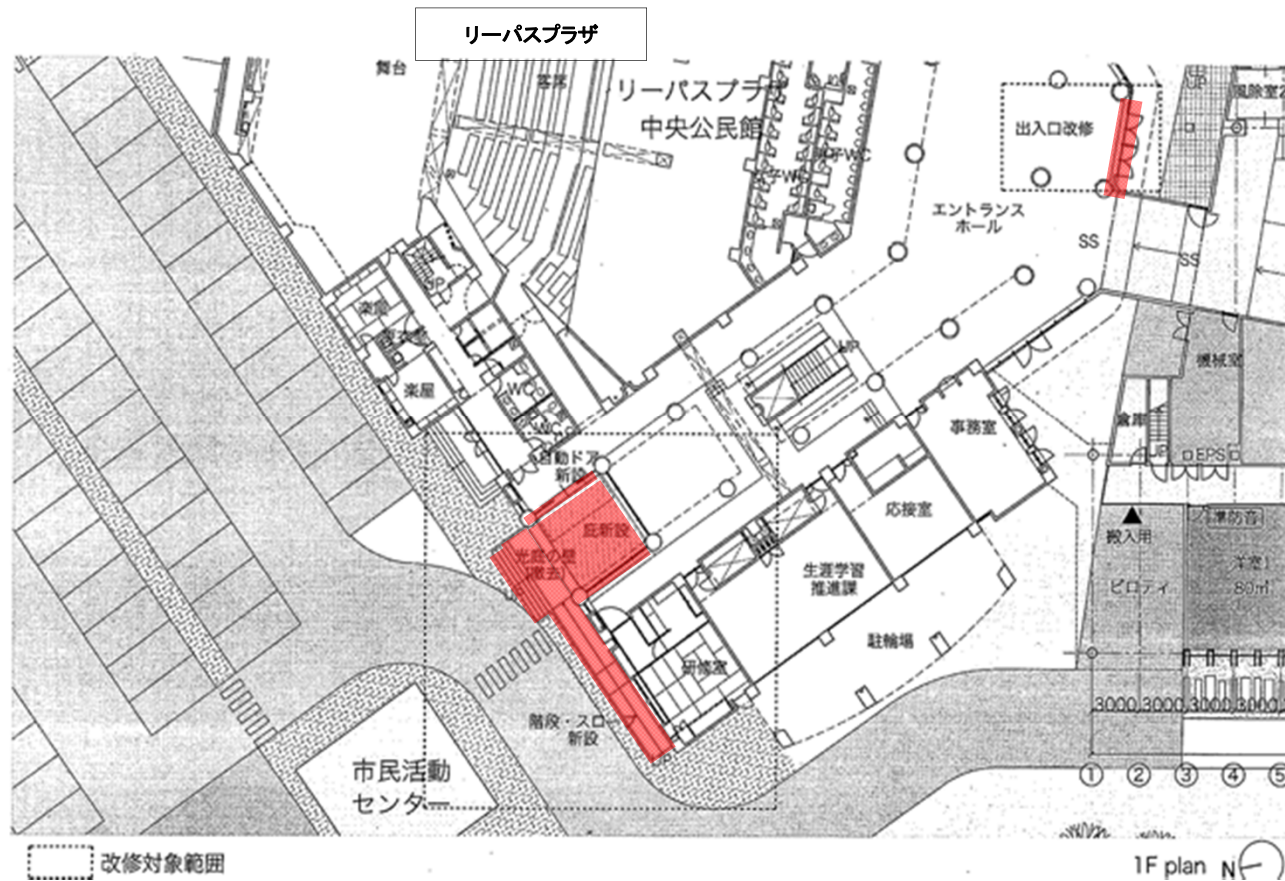
整備内容:駐車場・進入路・歩道・正面広場・雨水排水路・庇
 ・植栽等整備、既存施設撤去、用具倉庫移設
 全体事業費:139,206千円
 事業期間: H24~H28

H24	設計	C= 2,480千円
H26	工事、工事監理	C=23,376千円
H27	工事、工事監理	C=37,565千円
H28	工事、工事監理	C=75,785千円

関連事業（効果促進事業）

種別	効果促進事業・施設整備	施設名	リーバスプラザ出入口整備事業	位置	中央2丁目
----	-------------	-----	----------------	----	-------

整備・設置する施設等の配置図・平面図等



リーバスプラザ出入口整備事業
【事業概要】
 目的:リーバスプラザの出入口に自動ドア、スロップ整備等の改良を行うことで、高齢者や障がい者にも利用しやすい施設環境を整え、中心市街地の活性化に寄与する。
 整備内容:(通用口) 自動ドア・階段・スロップ・庇整備、擁壁撤去(正面玄関口) 扉軽量化
 全体事業費:9,158千円
 事業期間: H26
 H26 工事 C=9,158千円

事業活用調査(地域防災対策調査業務)

【事業概要】

全体計画 H26～H27 C= 100千円
H26 調査検討委託 90千円
H27 防災マップ作成 10千円

「災害対策基本法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、「減災」の考え方等の基本理念が定められたことをうけ、市における風水害や地震等の災害危険性と、その防災に係る課題等を把握するための防災アセスメント調査、指定緊急避難場所及び指定避難所の調査検討、地区別防災カルテの作成、防災マップの作成を行い、今後の地域防災計画書の改訂に向けた基礎資料とすることを目的とする。

○緊急避難場所・避難所調査検討

市では公共施設の中から24箇所の一時避難場所(改正災対法では指定緊急避難場所)と51箇所の避難所(改正災対法では指定避難所、福祉避難所含む)を指定し地域防災計画に掲載している。災対法の改正に伴い、民間施設も含めた緊急避難場所・避難所の追加指定・見直しを行う。

○地区別防災カルテ作成

市では洪水・土砂災害及び地震・津波の二つのハザードマップを策定しており、それぞれの災害危険区域の情報が複数の資料として配布されている。これらの情報を統合し、さらに地域住民等から聞き取り調査を行い、内水害等の情報を追記した地区別防災カルテを作成する。

○防災マップ作成

緊急避難場所・避難所調査検討、地区別防災カルテ作成で得た情報を元に、避難場所・避難所と想定される災害危険区域を一つの防災マップとして作成する。併せて、各避難場所・避難所が使用可能な災害種別についても周知できるものとする。

